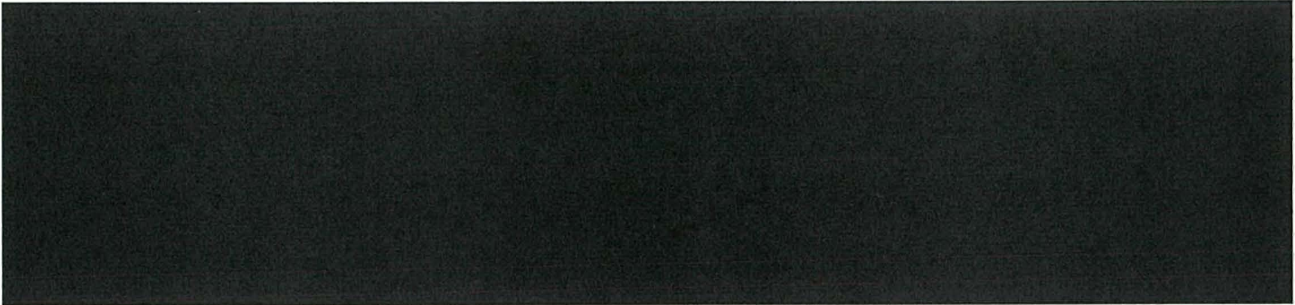


大学院入学試験問題用紙

2022年度1期

科目名	受験専攻	受験番号	氏名
英語	造園学 専攻 博士前期 課程		

1. 次の英文を日本語に訳しなさい。



【Jules Janick (1972) Horticultural Science 2nd edition】

解答欄

2. 以下(1)～(10)の日本語を英語に訳し、各問右側の下線部に示しなさい

- | | | | |
|----------|-------|-------------|-------|
| (1) 公開空地 | _____ | (6) 外来種 | _____ |
| (2) 水準測量 | _____ | (7) 生垣 | _____ |
| (3) 文化遺産 | _____ | (8) 市街化調整区域 | _____ |
| (4) 石灯籠 | _____ | (9) 沈床花壇 | _____ |
| (5) 墓地公園 | _____ | (10) 自然植生 | _____ |

3. 本問題用紙の裏面を使用し、卒業論文またはこれまでに携わったプロジェクトの内容を英文で説明しなさい。

大学院入学試験問題用紙

2022 年度 1 期

科 目 名	受 験 専 攻	受 験 番 号	氏 名
造園計画・設計学（造園史含む）	造園学専攻 博士前期課程		

※解答欄が不足する場合は、用紙の裏面を使っても構わない。その際は、1～3 のいずれの解答かを明示すること。

1. 都市における公園緑地の機能・役割を 4 つ挙げよ。また、実存する公園緑地をあげ、解答した 4 つの機能・役割の現状および課題について説明せよ。

2. フランス整形形式庭園の成立過程と空間構成上の特徴について、具体的な人物、庭園や事象、などを例示しつつ述べなさい。

3. 以下に示す SDGs（持続可能な開発目標）の 17 目標のうち、造園空間に対する空間情報技術の応用によって貢献できると考えられる目標を 2 つ挙げ、その理由を具体的に説明せよ。

1: 貧困をなくそう 2: 飢餓をゼロ 3: すべての人に健康と福祉を 4: 質の高い教育をみんなに 5: ジェンダー平等を実現しよう
6: 安全な水とトイレを世界中に 7: エネルギーをみんなに そしてクリーンに 8: 働きがいも経済成長も 9: 産業と技術革新の基盤をつくろう
10: 人や国の不平等をなくそう 11: 住み続けられるまちづくりを 12: つくる責任 つかう責任 13: 気候変動に具体的な対策を
14: 海の豊かさを守ろう 15: 陸の豊かさを守ろう 16: 平和と公正をすべての人に 17: パートナリーシップで目標を達成しよう

大学院入学試験問題用紙

2022 年度 1 期

科 目 名	受 験 専 攻	受 験 番 号	氏 名
造園施設材料・施工学	造園学 専攻 博士前期 課程		

以下の 6 つの問題から 2 つを選択し、それぞれを 400 字～500 字で述べなさい。論述にあたっては裏面を使用し、問題番号についても記載すること。

1. 造園空間の地域性を表現するためには、当該空間で使用されている石材が重要な役割を担っている。日本から産出する石材（岩石名ならびに庭石名）を挙げつつ、具体的な造園空間を例示しながら、その地域性について説明しなさい。
2. 造園空間に池を作るためには、水を溜める池底の構造が重要である。そこで、あなたが知る池底部の構造をひとつ取り上げ、使用材料と施工方法について説明し、他の工法（ひとつでも複数の工法でも可）と比較した場合の長所と短所について述べなさい。
3. 欧米では、公園のプレイエリアにおけるインクルーシブ遊具の設置が盛んにおこなわれ、近年ではわが国の公園でも導入されはじめている。インクルーシブ遊具とは何かを説明しつつ、公園利用を豊かにしてゆくための意義や長所について述べなさい。
4. 歴史的庭園の保存修復方法を検討するためには、地形・地割、地物等についての破損・損傷箇所とその状況を詳しく把握・記録することが重要である。特に歴史的庭園における滝、流れ、池といった水景施設の破損・損傷箇所とその状況を把握するにはどうしたらよいか、考えられる方法と得られる情報を具体的に述べなさい。
5. 近年、顕在化しつつある気候変動に対応するため、都市の屋外公共空間にはグリーンインフラの考え方が導入され、街渠樹の浸透樹化、公園におけるレインガーデンの設置など、公共空間における雨水管理の整備が推進されつつある。ここで、伝統的な日本庭園を、雨水を管理・制御する器としてとらえた場合に、いかなる機能を評価することができるか、日本庭園の有する地形・地割の特徴から説明しなさい。
6. 広場等の造園空間では、舗装が重要な役割を担っている。そこで、あなたが知る舗装方法をひとつ取り上げ、使用材料と施工方法について説明し、他の材料（ひとつでも複数の材料でも可）と比較した場合の長所と短所について述べなさい。

選択した問題番号：

[illegible]

250 字

500 字

選択した問題番号：

[illegible]

250 字

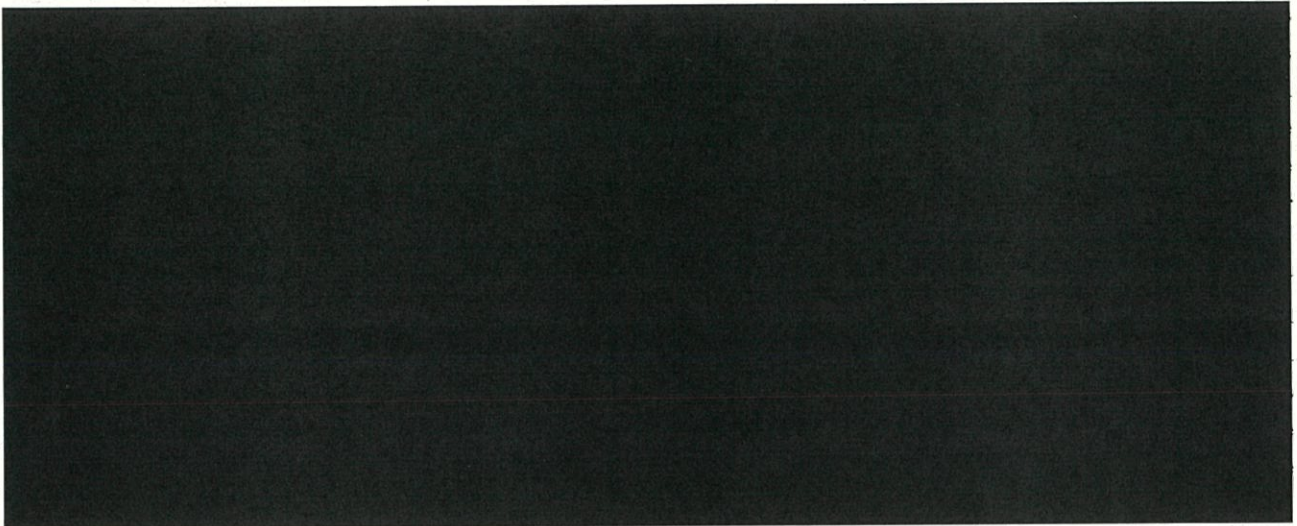
500 字

大学院入学試験問題用紙

2022 年度 2 期

科 目 名	受 験 専 攻	受 験 番 号	氏 名
英語	造園学 専攻 博士前期 課程		

1. 次の英文を日本語に訳しなさい。



【Michael Lancaster (1991) The Oxford companion to gardens】

解答欄

2. 以下(1)～(10)の日本語を英語に訳し、各問右側の下線部に示しなさい

- | | |
|--------------------|------------------|
| (1) 植栽基盤 _____ | (6) 人工知能 _____ |
| (2) 航空測量 _____ | (7) 樹冠構造 _____ |
| (3) 世界遺産 _____ | (8) 空間情報技術 _____ |
| (4) グリーンインフラ _____ | (9) 造園施工 _____ |
| (5) 防災公園 _____ | (10) 俯瞰図 _____ |

3. 本問題用紙の裏面を使用し、卒業論文またはこれまでに携わったプロジェクトの内容を英文で説明しなさい。

大学院入学試験問題用紙

2022 年度 2 期

科 目 名	受 験 専 攻	受 験 番 号	氏 名
造園計画・設計学(造園史含む)	造園学 専攻 博士前期 課程		

※解答欄が不足する場合は、用紙の裏面を使っても構わない。その際は、1～3 のいずれの解答かを明示すること。

1. 園路とは、基本的に人の動線を通す線状の装置である。造園空間においては景色を眺めながら歩行するところに意義があるとされる。そこで「視点場としての園路」に着目し、園路のルート設計における留意点について述べよ。また都市公園の事例をひとつ挙げ、園路のルート設定にみられる具体的な工夫について記せ。

2. 浄土庭園の成立過程と空間構成上の特徴について、具体的な庭園や事象、人物などを例示しつつ述べよ。

3. 造園空間における構成要素の調査を行う際、空間情報技術を取り入れると効果的であると考えられる事例を具体的に述べよ。取り入れる空間情報技術は、GIS、GPS、衛星リモートセンシング、フォトグラメトリ、AR、VR 等とし、複数の技術を用いても構わない。